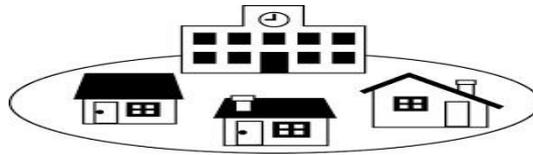


とうせい コミスク便り



令和3年10月28日
10月号

5年生・総合的な学習の時間「田んぼの学校」 稲刈り編



けがをしないように、稲わらを持つ手の親指を下にします。



収穫前にタブレットで写真を撮りながら観察記録をしました。



教えてくれた稲の持ち方を忘れず刈っていて安心。



クラス毎に稲刈りをしている間に島田さんへ質問タイム。



稲の乾燥「はさがけ」をしました。



10月の脱穀作業の日まで天日で干しました。

新型コロナウイルス感染症拡大によって様々な制限がありましたが、今年も素晴らしい秋晴れのもと9月24日（金）に予定通りの収穫体験ができました。また、コンバインの乗車体験はできませんでしたが、鎌で刈り取り、ひもで縛り、はさがけの体験の他、じっくりとお米のことや農家の仕事について質問することができました。全て、おやじの会の島田さんを筆頭にまちの先生方と、お天道様のお陰です。

【まちの先生方】

- ・おやじの会：島田謹介さん（お米農家）
- ・東和土地改良区：石川健太さん，愛宕拓弥さん
- ・町役場産業振興課：須見優子さん 小畑雅俊さん
- ・町役場地域の元気づくり課：加藤孝さん，水上大二さん

脱穀編



輪のようなものがついたドラムが回り、粒を取り離します。



籾殻を取り除きます。詰まらないように少しずつ入れます。



回転している鉄の網で、屑米と分別します。



とても楽しかったです。



機械が速く回っていてびっくりしました。

【まちの先生方】

- ・おやじの会：島田謹介さん
- ・東和土地改良区：石川健太さん
塚原柊さん
- ・上川中部整備室：吉岡孝紘さん
小俣芳春さん
- ・町産業振興課：須見優子さん
小畑雅俊さん
- ・町地域の元気づくり課：
加藤孝さん
水上大二さん

最後にクラス2名ずつ、感想発表をしました。

10月13日（水）、雨が心配される時期でしたが当日は見事に晴れ、脱穀を終え、無事に玄米にできました。自分たちで植えた稲がいつも見る米粒に近づいていく様子に興味津々でした。この後は、島田さんに精米していただき、12月に試食会をする予定です。

また、同じ田んぼで育てた別の新米は同じ週の15日（金）に全校給食で味わいました。

来年の栽培に向けて



今年は、例年がない暑さ続きのため、学校の教材園も、生育が芳しくないものがありましたが、無事に全ての収穫を終えました。

10月に入り、片付けの後、前田牧場さんの堆肥を入れ、その後、おやじの会会長の島田さんに教材園の整備をしていただきました。

今年は、耕耘機をかけた後に、さらにプラウで深いところの土を起こしていただきました。これにより、来年の春には雪解け水がしみこみやすくなり、水はけもよくなるとのことです。